

医薬品・医療機器等安全性情報

No.389

ダイジェスト

令和4年(2022年)1月
[厚生労働省医薬・生活衛生局]

医薬品・医療機器等安全性情報No.389が発行されました。その概要は以下のとおりです。詳細は次の雑誌に掲載される予定ですので、関連症例等についてはこれらをご参照下さい。

日本医師会雑誌(3月号)
日本薬剤師会雑誌(3月号)

日本病院薬剤師会雑誌(3月号)
診療と新薬(第59巻第1号)

なお、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能です。

1. 病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方について

高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服用等によって、安全性の問題が生じやすい状況があることから、厚生労働省では、平成29年4月に「高齢者医薬品適正使用検討会」(以下、「検討会」という。)を設置し、高齢者の薬物療法における安全性確保に必要な事項の調査・検討を進めてまいりました。

検討会では、これまでに「高齢者の医薬品適正使用の指針」を取りまとめてきたほか、令和2年度にはポリファーマシー対策の取組みを始める際や業務運用体制を体系的に構築・運営する際に役立てていただくための業務手順書・様式事例集(以下、「業務手順書等」という。)として「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」を取りまとめました。

本稿では、検討会のこれまでの取組みや、ポリファーマシー対策を様々な医療機関で取り組んでいただきたくための業務手順書等について紹介します。

2. 重要な副作用等に関する情報

令和3年12月17日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介します。

3. 使用上の注意の改訂について(その329)

次の医薬品等について「使用上の注意」の改訂内容等を記載します。
コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン(SARS-CoV-2) 他11件

4. 市販直後調査の対象品目一覧

令和3年11月末日現在、市販直後調査の対象品目を紹介します。